



# 平成30年7月豪雨復興支援 災害支援ボランティアを派遣

今回派遣された災害支援ボランティアの皆さん。派遣にあたり、市ボランティア連絡協議会から塩あめを、バスを運行していただいた(株)十和観光からはお弁当などを提供いただきました。



①奥に見える体育館が倉敷市社協の災害ボランティアセンター。外のテントには飲料水などの資材が準備されていた／②現地到着後、倉敷市社協と行ったリーダー会議の様子／③サテライト受付ではマッチングおよび作業確認を行う／④地図で現地を確認し活動の現場へ向かう

西日本の多くの自治体に甚大な被害をもたらした、平成30年7月豪雨。市および市社会福祉協議会では、被災地の復興を支援するため、常総市と連携し、7月23日から25日まで、災害支援ボランティアの派遣を行いました。

## 常総市と連携し、倉敷市へ

西日本を中心に甚大な被害をもたらした平成30年7月豪雨。市および市社会福祉協議会では、平成27年の関東・東北豪雨の被害を共に経験した常総市と連携し、災害ボランティア派遣およびボランティアバスの運行を決定しました。

派遣先は、被害の大きかった岡山県倉敷市真備町。真備町は、町の4分の1にあたる1200軒が冠水。倉敷市社会福祉協議

温かいで支援をありがとうございます

### 平成30年7月豪雨災害の義援金をいただいた皆様

・さわやか健康体操 様	・山王新田8期自治会 様
・つくばみらいライオンズクラブ 様	・つくばみらい市農業委員会 様
・つくばみらい市体育協会ゴルフ部 様	・募金箱に入れていただいた皆様
・水口忠男・ヒロ子 様	
・豊小学校・豊小学校 PTA 様	

(8月13日現在)

**問** 伊奈庁舎社会福祉課 ☎58 - 2111 (内線4104)

会では、災害ボランティアセンターを設置し、ボランティアの受け付けを開始していました。  
**猛暑の中、懸命に活動**

本市からの災害ボランティア活動は、7月23日～25日の3日間の日程で組まれ、市内外から40人の参加者が集まりました。7月23日には伊奈庁舎で出発式が行われ、小田川市長は「猛暑の中での作業となりますので、くれぐれも体調に気を付けて復興支援活動を行ってください」と参加者を激励しました。

出発式の後、参加者は2台のバスに分かれて乗車し、伊奈庁舎を出発しました。翌24日の朝、倉敷市社会福祉協議会災害ボランティアセンターに到着。本市のボランティアは8班に分かれ、各班それぞれの現場へ移動しました。

各班の活動内容は、災害ゴミや家財ゴミを搬出する作業、家屋内の土壁を剥がす作業、がれきなどを土嚢袋に詰め搬出する作業、泥水かき、畳の搬出など多岐にわたりました。

復興までは長い道のりとなりますが、今回参加したボランティアの皆さんの活動は、真備町復興に向けた、確かな1歩となったはずです。